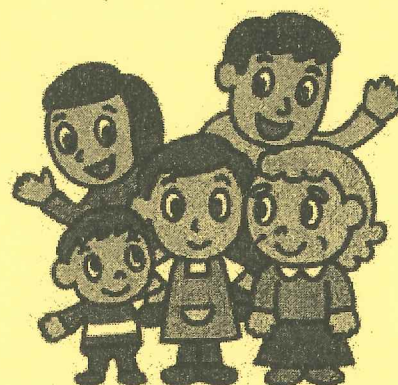




藤崎中央小学校

老人ホームへ行て

藤崎中央小学校 四年

木村 留花

私は、おばあちゃんが好きで

す。昔あったことやしたことを教

えてくれます。この前、お手玉を

おばあちゃんから教えてもらいま

した。私は二つしかできませんでした

おばあちゃんは三つもできます。

だから、私も三つできるようにな

りたくなりました。なのでおばあ

ちゃんに教えてもらいました。かな

かなかできません。おばあちゃん

は、落ち着いてやりなさいと

いいました。私はゆっくりお手玉

をやていたら二回もできました。

うれしくてそれから何回も練習を

しました。今の子どもたちは、お

手玉で遊ぶことはあまりありません。

でも、お手玉の遊び方をおば

あちゃんに教えてもらって、お手

玉三個を三回以上できるようなり

たいと思いました。

おばあちゃんは、他にもたくさん

んのことを経験しています。だが

らいつしよにいうと、いつも新しい

ことがわかって楽しくなります。

私のおばあちゃんは、現在元気

です。でも、だんだん年をとって

くると痛いところや体が不自由に

なつてくるかおしれません。この
ように生活に困ったときにお世話
してくれるのが老人ホームです。
私たちはチャレンジ学習で「
福祉」について勉強しています。
車いす体験や高れい者ぎい体験を
して老人が困っていることなどを
体験しました。もっとおじいさん
やおばあさんのことを知るために
特別養護老人ホーム「さんふじ」
へ見学に行きました。
グループに分かれて施設の方と
いっしょに見学をしました。私た
ちは、老人ホームの中のグループ
ホームという所に行きました。五

人から九人の人が家づくりしてい
るように生活をする所です。私た
ちが行ったときは、おかしタイム
でした。そこにいる方たちは、み
んな楽しそうにお茶を飲んだり、
おしゃべりをしていました。私は
なんだかいいなあと思いました。
本当のお家ではありませんが、み
んなといっしょにいてしあわせだ
と思っただけです。
老人ホームにいる方たちは、見
た目ではとても元気に見える人び
も年をとってくると腰や足が痛く
なつてくる人もいます。その痛い
ところを改善するために体そうを

をしていました。痛くならないた
めにも体そうをしたりします。中
には九十才以上の人もいました。
老人ホームに行つて、たくさん
工夫があることもわかりました。
工夫の一つは、鏡です。老人ホ
ームの鏡は、ななめになつていま
す。ななめかというと、車いすでも
見やすくなるためです。ななめだ
と車いすにのつている人でも顔も
体も見ることができます。
二つ目は、手すりがたくさんあ
つたことです。ろう下、トイレ、
自分の部屋などたくさんの手すり
がありました。おじいさんやおば

あさんが歩くときに手すりがある
とつかまえることができるので、と
ても安心です。
三つ目は、部屋の名前です。鳥
や花の名前になつていました。数
字で何号室というよりも鳥や花の
方が分かりやすいし、おじいさん
やおばあさんもまよわなくてすく
わかるのではないかと思いました。
老人ホームの見学では、最後に
四年生全員で歌とリコーダーの演
奏をプレゼントしました。ホール
にたくさんの方が集まつて聞いて
くれました。帰りにおじいさんや
おばあさんとあく手をしました。

説
の
人
に
た
た
か
ら
耳
で
も
し
て

協会の力を借りて教えなくてはだめだ

ました。車いす体験と高れい者ず
じ体験をしました。
最初、車いす体験をしました。
グループで押す人と乗る人になり
ました。私は、車いすを押しても
重くて前になかなか進まないと思
いました。特に段差がある所は進
まないので、車いすのレバーをふ
んで車輪を上げました。石ころに
見立てた道では、レバーをふんだ
りはなしたりを繰り返しながら進
みました。ジグザグの道は、曲が
るのが大変でした。
次に、高れい者ずじ体験をしま
した。体に重りをつけて、手袋を

はいて、見えなくなるめがねをか
けて歩いたりちらしを読んだり、
新聞をめくったりしました。体が
動かしにくくて、ちらしを見たとき、色や数字や文字があまり見え
ないことが分かりました。
この体験から私がスーパード見
た施設の人やおじいさん、おばあ
さんのことを考えてみました。
施設の人には、車いすを軽々と押
しているように見えたと、カと
技術がないと車いすを上手に動か
すことができないと思いました。
通路を曲がる時や段差がある所は
おじいさん、おばあさんに気づか

いながら押していることも分かり
 ました。
 おじいさん、おばあさんもレジ
 ーで施設の人に会計を手伝ってもら
 っているのは、お金の色が分から
 なかったり、すぐに出すことがで
 きなかったりするからかなと思っ
 ました。
 福祉について勉強していますが、
 私は自分にできることをするのが
 大切だと思っています。スーパーで
 たおじいさん、おばあさんだけで
 なく、困っている人がいたら役に
 立ちたいです。施設の人みたい
 に上手にできないかもしれないけれ

ど、自分にできることをやってい
 きたいです。
 家にも、おじいちゃんおばあち
 ゃんがいるので私ができることを
 やってやさしくしていきたいと思います。

藤崎中央小学校	四年	村上	愛琉羽	老人ホームへ行つて
私は、今までおじいさんやおばあさんにあまり関わってことがありませんでした。	今年、チャレンジの勉強で「福祉」をテーマに学習をしています。	体験や高い者ぎじ体験をしました。	少し老人のことがわかってきました。	私も老人や老人ホームに興味を持ちテーマにしたいなと思います。

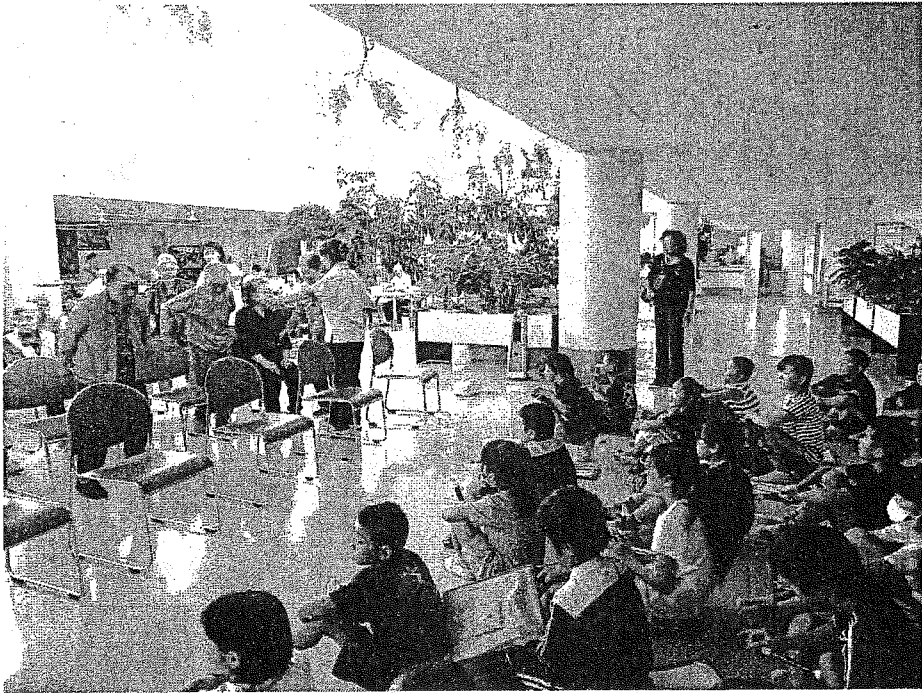
[illegible]

ま	グ	し	何	じ	よ	昔	出	お	教	話	や	た	と	ま
し	ル	た	だ	い	と	の	せ	年	え	し	ま	り	を	し
た	ー	。	か	さ	い	こ	な	寄	よ	て	ご	。	思	した
。	フ		と	ん	ま	と	か	り	う	い	の	昔	い	そ
七	ホ		も	も	い	は	っ	は	と	る	こ	の	出	こ
人	ー		あ	そ	ま	良	た	。	一	時	と	来	し	で
く	ム		り	う	。	く	り		生	は	を	事	な	
ら	と		が	で		覚	忘	今	懸		話	や	が	子
い	言		た	し	老	え	れ	の	命	笑	し	自	ら	ど
が	う		い	。	人	て	たり	こ	で	顔	て	分	話	も
い	部		思	わ	ホ	い	す	と	し	で	く	の	を	の
っ	屋		い	た	ー	る	る	は	た	私	れ	子	し	頃
し	も		ま	し	ム	も	け	思	。	た	ま	ど	て	の
よ	あ			は	の	の	ど	い	よ	ち	し	も	く	こ
に	り				お	だ			く	に	た		れ	

屋	グ	し	屋	私	が	飲	と	。	と	。	し	あ	生	く
が	を	た	の	は	あ	ん	声	こ	言	こ	た	さ	活	ら
あ	す	。	仕	。	っ	だ	を	ん	う	ん	ち	ん	す	し
っ	る	食	組	見	と	り	か	。	と	に	ち	。	と	て
て	ところ	堂	み	学	も	。	け	。	元	。	は	。	ころ	自
。	な	お	や	し	楽	お	て	ど	気		。	。	だ	分
全	ど	ふ	エ	て	し	し	く	こ	な				そ	の
部	く	ろ	夫	老	う	べ	れ	か	声				う	家
お	さ	。	に	人	で	り	ま	ら	で				。	に
い	ん	ト	興	ホ	し	た	。	き					お	い
さ	の	レ	味	ー	な	。	。	た					ば	る
ん	の	ニ	を	ム	。	し	。	の						よ
や	部	ン	持	の		な	。	。						う
お			ち	部			。							な
			ま											

ばあさんが元気でくらすことがで
 きるような場所になっ
 ています。
 トレーニングの場所では、うでや
 体を動かしていました。
 トレーニ
 ングをすること
 で動かす
 たり痛くなくな
 たりするよう
 です。
 他にも老人ホームにはた
 くさんのエ夫が
 あります。
 中でも
 すごいなと思
 ったことは、
 鏡です。
 私たちから見ると鏡がなめにな
 っているのです。
 施設の方に聞いて
 みたなら
 鏡がなめになっ
 ている理由は
 車いすの人でも
 鏡がよく見える
 から。

と教えてくだ
 さいました。
 車いす
 の人は、私
 たちより低
 いところを
 見ているか
 らまっ
 すぐだと見
 えな
 いところ
 が少ないこ
 とが分か
 りま
 した。
 こうした
 所にも使
 いやす
 するエ夫
 があ
 っ
 て
 すご
 いと思
 いま
 した。
 最後にお
 じいさん
 やおはあ
 さんとあ
 く手
 をし
 て別
 れま
 した。
 おじ
 いさん
 やおは
 あさん
 の手
 はと
 ても
 あた
 たか
 くて、
 やわ
 らか
 かつ
 たで
 す。
 老人
 ホーム
 の見
 学や
 勉強
 から
 私
 たち
 はも
 っ
 とお
 じい
 さん
 やお
 はあ
 さん
 のこ
 とや
 世話
 をし
 てい
 る老

[illegible]

福祉

藤崎中央小学校

四年

外川 結菜

みなさんは、「福祉」という言葉はどう思いますか。この言葉には、一言では言い表せないくらいたくさんの意味を括っていると思います。私は「だれもがしあわせにくらし、よりよく生きる」だと思います。

私は、「しあわせ」や「よりよく生きる」ことについて考えてみました。

私たちは、安心で生きるお家でご飯を食べたりねむ。たり当たり前から

にしていることが本当は「しあわせ」なことだと思います。私たちが生きていくためには「食料」が大切です。私たちが食べるものが、大抵は、作物を作ってくれの人や加工してくれる人や運んでくれる人や売ってくれる人などいろいろな苦労や働いている人からこそ食べることができるので、私たちは、そのおかげで毎日の生活に不満はないし、楽しくすごせます。世界には、食べるものがなくて、栄養失調でなくなる人が一日何万人もいます。ですから、毎日の食事の時には、い

ただ、さます。『ごちそうさまでした。』と食べられることに感謝をしてあいさつをしなければならいと思います。

私たちがくらしている中で、自分と少しちがうからといって仲間はずれにしていることなどはありません。仲間はずれまでいかなくても、変だなと思うことはあります。か。人とちがっても。逆に人とちがうことをする人がいると、みんなの心がはずんで、クラス全体が明るく、楽しくなると思います。もし、少しちがうだけで仲間はず

れになっっている人がいたら、その人の気持ちになっ、てみて下さい。だれにも言えなくてどうしようもなくて、とてもしあわせな気持ちにはなれません。このような人が一人でもいるということはいあわせな世界ではありません。また、人が生きている世界には生まれつぎしうがいがある人や、お年よりなどだれかの力をかりなければいけない人もいます。この人たちも、よりよく生きていくために、かいてい、ごしさんやヘルパーさんのような人が必要です。生きている人がみんな、しあわ

せーでっよりよく生きていくた
 めに、私は少し世の中のことを考
 えていかなければならないと思
 います。私はまだ四年生ですが、
 チャレンジ学習で考えたり、ニ
 ースを見て考えたり、先生の話を
 聞いて考えたりすることです。福社
 しについてのもっとわかっていく
 と思います。
 しあわせでよりよく生きていく
 世界にな。てほしいです。

